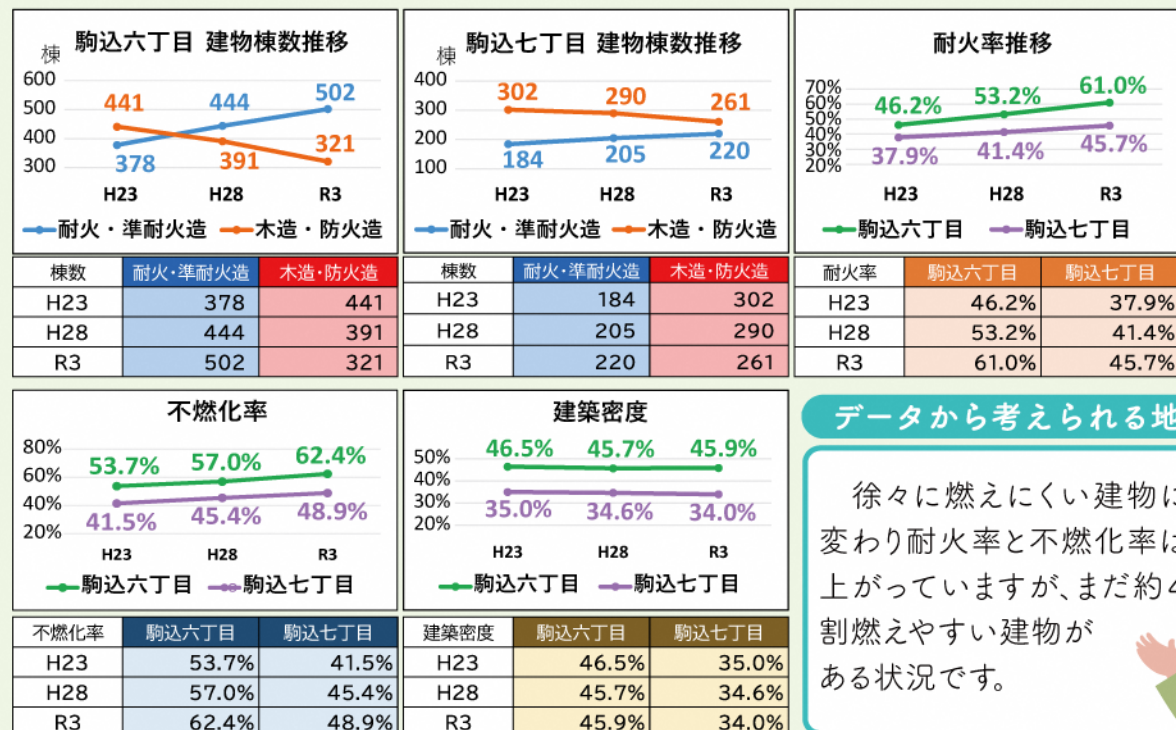


建築物に関する過去 10 年の推移

平成 23 年 (2011 年) から令和 3 年 (2021 年) までの 10 年間の構造別建物棟数、耐火率、不燃化率、建築密度の推移をグラフで表すと次の通りです。



データから考えられる地区の課題

徐々に燃えにくい建物に変わり耐火率と不燃化率は上がっていますが、まだ約4割燃えやすい建物がある状況です。



駒込地区防災まちづくりニュース

令和 6 年 3 月発行 TOSHIMA CITY

① 駒込地区防災まちづくりの会が始まりました

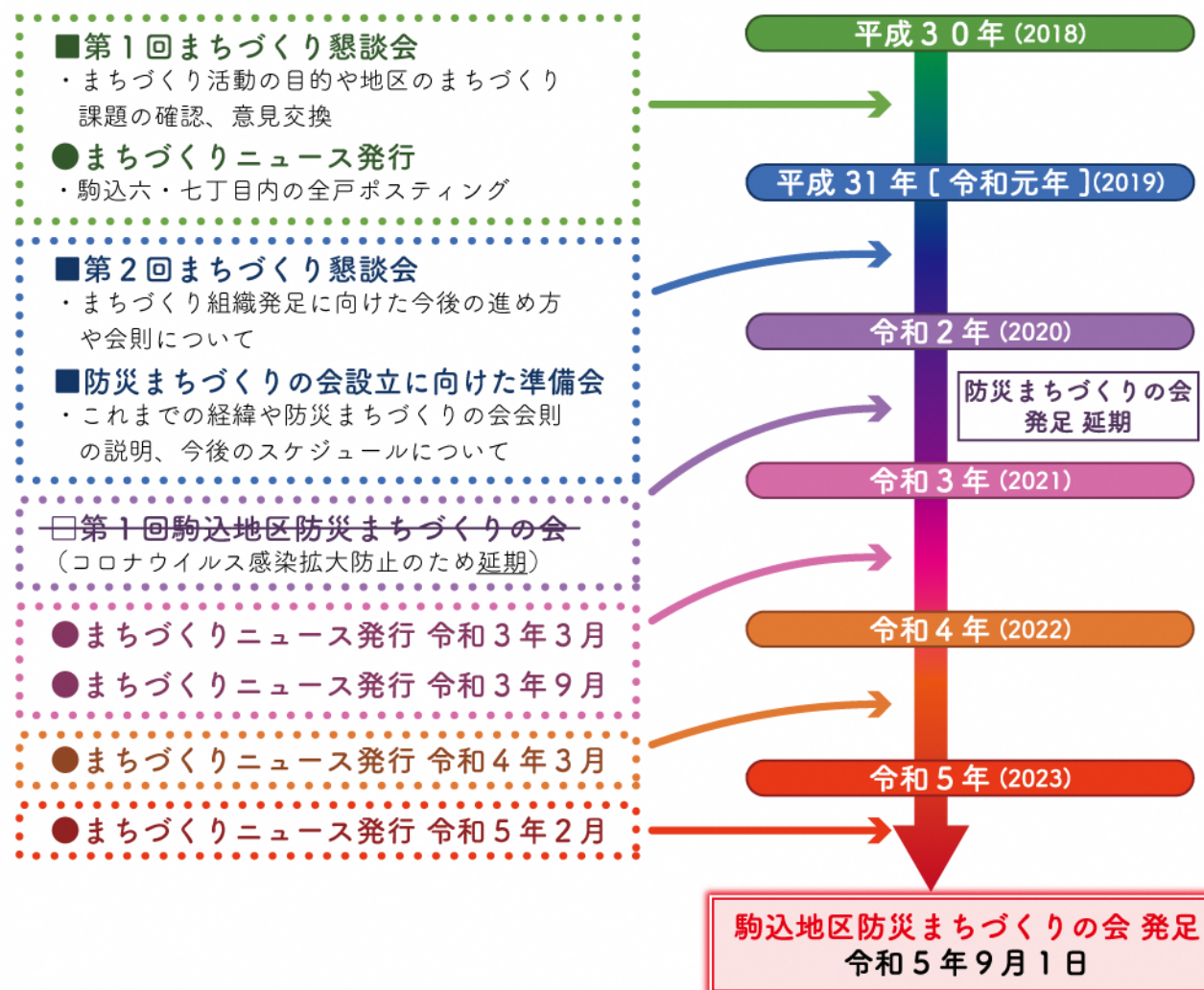
駒込地区防災まちづくりの会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催が延期となっていました。令和 5 年に新型コロナウイルス感染症が 5 類へ引き下げられたことにより 9 月 1 日に開始できました。

駒込六・七丁目は、狭い道路や老朽化した木造住宅が多く点在し、災害時の避難、緊急車両の通行、消防活動の困難性などが指摘されています。

このような駒込地区の課題の解決に向けて「誰もが安全に安心して暮らしていくための意見を出し合いながら、駒込地区の防災性の向上を図ること」を主な活動目的とするまちづくりに取り組んでいきます。

駒込地区防災まちづくりの会 発足までの経緯

平成 30 (2018) 年度から防災まちづくりの会発足までの活動の経緯は次の通りです。



豊島区からのお知らせ

建替えを促進するために不燃化特区助成制度のメニューが追加されました！

能登半島地震でお亡くなりになられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

区では、地震被害軽減のため、右の通り、不燃化特区の助成を行っています。

また、令和 5 年 4 月より、「**戸建建替え促進助成(建築工事費助成)**」も新設。なお、**助成期間は令和 7 年度まで**です。

助成には事前の相談が必要です。詳しくは、次の連絡先にご連絡ください。

(連絡先) 豊島区 都市整備部 地域まちづくり課
03-3981-1464

〈助成制度〉の概要

■老朽建築物の「解体・整地費用」を助成

■戸建建替え促進助成

1. 設計費助成

2. 建築工事費助成 (NEW!)

■固定資産税・都市計画税の免税

■専門家(弁護士、税理士等)派遣

*それぞれに要件あり

なお、木造住宅の耐震診断・耐震改修の助成については、次の連絡先にご連絡ください。

(連絡先) 豊島区 都市整備部 建築課
03-3981-0590

●事務局●



TOSHIMA CITY

豊島区 都市整備部 地域まちづくり課 沿道推進グループ
TEL : 03-3981-3449 FAX : 03-3980-5135
メール : A0050025@city.toshima.lg.jp

株式会社 双葉
TEL : 03-3953-3265 FAX : 03-3953-5071

2 令和5年度防災まちづくりの会の開催

(2日間の会の運営の様子)

令和5年9月 駒込地区防災まちづくりの会

開催概要

開催日時：令和5年9月1日(金) 19時～20時 参加者：12名

場所：染井まちづくりセンター

当日は、首都直下地震による木造密集地域の危険性がテーマの動画を鑑賞し、豊島区の防災地図・ハザードマップを確認しました。

そして、動画や防災地図などの情報を見て気づいた地区の課題、または駒込地区の良いところについて意見交換しました。

会の様子

3つの班を作り、班ごとに意見交換しました。

会員のみなさまから出された意見をまとめると次の通りです。



主な意見

【防災に関する課題】

- ・マンション災害対策に課題がある ・建替えが進んでも密集は改善しない
- ・共同化という形で建替える検討の必要性 ・空き地に次々と家が建ってしまう
- ・都市計画道路補助81号線用地内に木造家屋が残っている

【災害からの避難に関する課題】

- ・駒込小学校及び中学校が坂の上にあるため坂の下に避難所が必要
- ・避難後必要となる7日間程度の備蓄をしている世帯が少ない
- ・町会ごとの避難所が必要 ・妊婦 高齢者 障がい者の避難訓練がされていない
- ・西ヶ原みんなの公園などが近くにあるという立地を活かしたまちづくりの検討

【地域のネットワークに関する課題】

- ・大きな公園が少ない ・町会の名簿がない
- ・自助共助公助のことなど住民に関する部分の考え方を知りたい
- ・町会以外のネットワークも必要

【地域の良いところ】

- ・商店街に元気がある ・子供も喜べるお祭りがある
- ・長く住んでいる方が多いため顔見知りが多く助け合いがある
- ・町会でバス旅行がある



令和6年2月 駒込地区防災まちづくりの会

開催概要

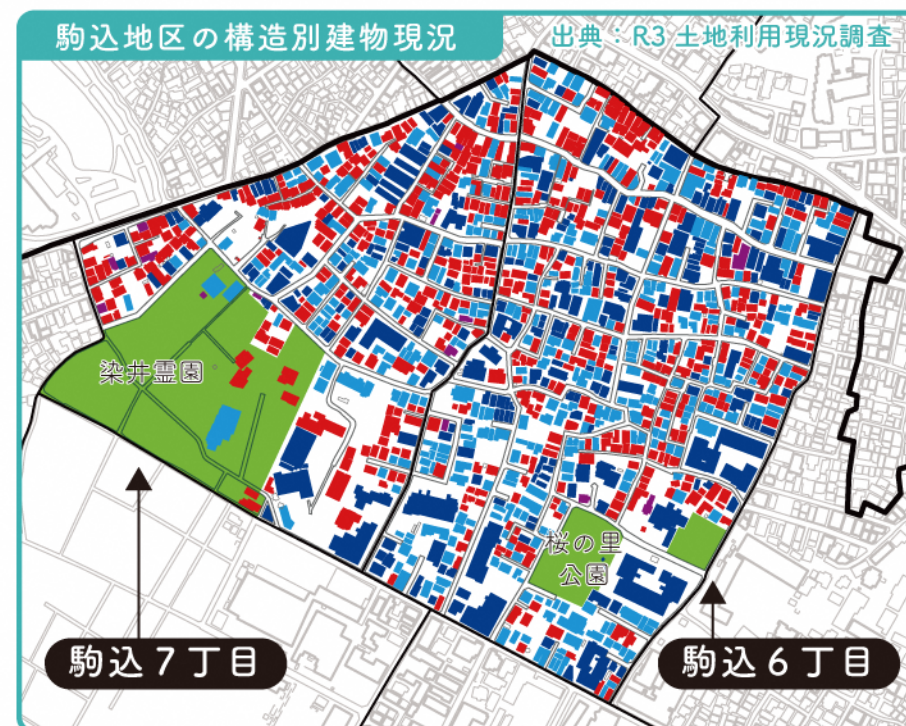
開催日時：令和6年2月9日(金) 19時～20時 参加者：14名

場所：染井まちづくりセンター

当日は、平成30年より本地区で行ったまちづくり懇談会の振り返りを行ったうえで地区の現況データを区から説明し、会の活動目的をあらためて確認しました。

データで見た駒込六・七丁目の現況

耐火性が低い**防火造建物**や**木造建物**などが密集している地域では火災の危険性が高くなりますが、駒込地区の構造別建物現況を見ると、防火造・木造の建物が4～5割程見受けられる状況です。



駒込地区

建物総数	1,304	100.0%
耐火造	288	22.1%
準耐火造	434	33.3%
防火造	567	43.5%
木造	15	1.2%

凡例

- 木造建物
- 防火造建物
- 準耐火建物
- 耐火建物
- 公園・墓地

駒込6・7丁目

令和3年度土地利用現況調査

町丁目	地区面積	データ	現状(R3)				耐火率		不燃化率	建築密度
			耐火造	準耐火造	防火造	木造	耐火率	非耐火率		
駒込六丁目	122,029	建物数	193	309	317	4	61.0%	39.0%	62.43%	45.9%
		建築面積計	20,821	17,699	17,115	393				
駒込七丁目	95,079	建物数	95	125	250	11	45.7%	54.3%	48.88%	34.0%
		建築面積計	9,230	8,205	14,402	474				
計	217,108	建物数	288	434	567	15	55.4%	44.6%	57.48%	40.7%
		建築面積計	30,051	25,904	31,517	868				

前号で掲載した
構造別建物現況の
最新版です



4ページにつづく